

● ルツェンコ元内相に対する恩赦(7日)

1. 内政

▼ルツェンコ元内相に対する恩赦

・6日、大統領直属恩赦問題委員会は、ルツェンコ元内相及びフィリプチュク元環境相への恩赦をヤヌコーヴィチ大統領に提案。これを受け、7日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ルツェンコ元内相及びフィリプチュク元環境相を含む6名に対する恩赦を認める大統領令を発出。同日、恩赦問題委員会委員のルカシュ閣僚会議相は、人道的観点及び国内法の欧州基準への適合プロセスの一環で同提案に至った旨説明。

・7日、服役していたメンスク刑務所から出所したルツェンコ元内相は、今後も政治に携わるとしつつ2015年大統領選挙へ出馬する意向はない旨発言。

・10日、高等特別裁判所は、ユーシチェンコ前大統領暗殺未遂事件の際の違法捜査の疑いでルツェンコ元内相に下された禁錮2年等の2012年8月17日付有罪判決を有効とする同年11月12日付キエフ市控訴裁判所判決を不服とする弁護側の主張を棄却し、原審維持の確定判決を宣告(同元内相は禁錮2年の刑期を満了)。11日、弁護側は、同確定判決を不服として欧州人権裁判所に提訴する意向である旨表明。

▼ティモシェンコ前首相に関する動き

・8日、ティモシェンコ前首相の弁護団は、同前首相に対する恩赦を大統領に要請する旨発言。9日、ルトコフスカ最高会議人権担当全権代表(オンブズパーソン)は、ティモシェンコ前首相の場合は裁判が進行中であり、恩赦の手續に言及するのは時期尚早である旨発言。11日、ヤヌコーヴィチ大統領は、裁判が終了するまで同前首相に対する恩赦の検討はできない旨発言。

・12日、「バチキフシチナ」党は、ヤツェニウク同党会派代表及びルツェンコ元内相等がティモシェンコ前首相が入院しているハルキフの国鉄中央病院を訪問したものの、同前首相との面会は許可されなかった旨発表。

▼議会の動き

・7日、リュバク最高会議議長は、議会の現状を克服するために最高会議に対する信任を問う国民投票の実施あるいは最高会議解散を検討する必要性に言及。11日、ヤヌコーヴィチ大統領は、現時点では議会を解散する考えはないとして、議会の活動が再開することを期待する旨発言。

・8日、リュバク議長は、4日の最高会議別館での本会議において採択された法律に署名し、大統領に送付。11日、ヤヌコーヴィチ大統領は、同法律の正当性に関し精査するよう専門家に指示。12日、高等行政裁判所は、4日の本会議は合法的に実施されたとする旨の判断を発表。

・10日、リュバク議長は、野党各党との議題に関する合意が得られたとして、16日からの本会議は最高会議議場において開催されるであろう旨発言。12日、ヤツェニウク「バチキフシチナ」会派代表は、野党の要求が基本的に受け入れられたとして、16日からは野党は議場の封鎖を行わない旨発言。

▼その他

・野党3党は、ジトーミル(6日)、ルツク(9日)、リヴネ(10日)及びハルキフ(12日)において全国抗議運動「立ち上がり、ウクライナ」の集会を、また、7日、キエフにおいて政府の退陣等を要求する集会を実施。

・9日、ヴラセンコ元最高会議議員は、同元議員の議員資格剥奪に関する3月6日付高等行政裁判所決議の再審を請求する意向である旨発言。

・11日、「バチキフシチナ」議員は、野党は16日の最高会議本会議においてキエフ市長・同市議会選挙の6月16日実施に関する審議を要求する意向である旨発言。一方、同日、憲法裁判所報道官は、同選挙の実施に関する決定までに3か月を要する可能性がある旨発言。12日、カテリンチュク「バチキフシチナ」議員(欧州党党首)は、キエフ市長選挙への出馬を表明。

▼世論調査

[ラズムコフ・センター]

・近日中にキエフ市長選挙が実施された場合の候補者支持率(投票意思のない者を除く)

クリチコ「ウダール」党党首:35.8%、ポポフ・キエフ市行政府長官:18.0%、ポロシェンコ前経済発展・貿易相:14.6%等

・調査は4月3日から8日にかけて1,216名のキエフ市民を対象に実施。

2. 経済

▼財政・金融・投資

・8日、歳入・国税省は、投資・ビジネス環境改善のための問題を扱う諮問機関としての役割を有する投資諮問委員会を設置した旨発表。本委員会は、関係省庁、国内及び海外投資家、ビジネス起業家の代表者より構成。

・10日、財務省は、10年物ソブリン債(年利7.5%)の発行により、国際金融市場において、CitiGroup、JP Morgan、Sberbank、CIB及びVTBキャピタルより、計12億5,000万米ドルを調達した旨発表。

▼IMF

・9日、アザーロフ首相は、ジャルビス氏を団長とするIMF調査団との会合において、ウクライナの経済状況は安定してお

り、政府は本年末までに予測された経済成長を達成する必要がある、政府代表团はIMF理事と新しい協力プログラムを議論するために近くワシントンを訪問する予定である旨発言。

・12日、アリエールIMF駐ウクライナ事務所長は、ウクライナ—IMFの新たなスタンドバイ合意についての次回協議が4月19～21日、ワシントンでのIMF・世銀年次会合の際に行われることが見込まれているとともに、ウクライナ代表团がIMF本部を訪問する予定である旨発言。

・12日、3月27日から4月10日までキエフを訪問したIMF調査団は、スタンドバイ合意により支持され得る経済政策に関してウクライナ側と生産的な議論を行った、新たなプログラムの障壁となるウクライナの財政赤字及び対外債務の減少ならびに持続的な経済成長及び雇用創出のためのエネルギー部門及び銀行部門改革が必要であろう、これらの問題についての議論が進捗し来週にも協議が継続されるだろう旨発表。

▼自動車セーフガード

・8日、自動車生産協会ウクラフトプロムは、2013年3月期のウクライナ企業による自動車生産台数が対前年同月比59%減の3, 223台と発表。

・10日、オレイニコフ経済発展・貿易省経済戦略計画局長は、自動車セーフガード措置（輸入自動車の関税引き上げ）導入後の状況変化によっては、措置導入期間を短縮するかもしれない旨発言。

▼農業

・9日、プリシャジュニク農業政策・食料相は、中古農業機械の輸入を制限する必要がある旨発言。同相は、農業生産者が安価を理由に中古の輸入農業機械を使用している結果、農作業の質が低下し、年間12億ドルの損失を被っている旨説明。

▼宇宙・航空機産業

・10日、アレクセイエフ国家宇宙庁長官は、ウクライナで初めてとなる通信衛星「リビジ」の軌道への設置は2013年12月28日に予定されている旨、また、サイクロン4のブラジルの打ち上げ射場からの最初の打ち上げが2014年末になるであろう旨発言。

・12日、キバ・アントノフ社長は、An70軍用貨物航空機プロジェクトの主な顧客であるロシア防衛省の撤退により、本軍用機の試験を中止した旨発表。同日、アザーロフ首相は、An70は世界でも類似物がない独特の特徴を有しており、ウクライナ単独で本プロジェクトを継続し、一連の製造を開始することが出来るであろう旨発言。

▼ガス問題

・11日、ウクルトランスガス社は、2013年第1四半期のロシア産ガス輸送量が対前年同期比17%減の19億4, 350万立方メートルであった旨発表。

3. 外政

▼ルツェンコ元内相に対する恩赦に関する反応

・7日、コモロフスキ・ポーランド大統領は、ヤヌコーヴィチ大

統領と電話会談し、連合協定署名の可能性を高めるヤヌコーヴィチ大統領の決定に謝意を表明。

・8日、EUのアシュトン上級代表及びフィーレ欧州委員は、ルツェンコ元内相等に対する恩赦に関する大統領の決定は恣意的裁判問題解決に向けた最初の重要な一歩であるとした一方、EUとの合意事項の履行のためウクライナが欧州基準に基づいた包括的な司法改革により未解決の恣意的裁判問題を解決し、同問題が再発しないことを期待する旨の共同声明を发出。

・8日、米ホワイトハウスは、恩赦を歓迎する一方、ウクライナ政府に対し政治的動機に基づく裁判の停止等と呼びかける旨の報道官声明を、また、9日、米国務省は、ティモシェンコ前首相の釈放と呼びかける旨の報道官声明を发出。

・クファシニエフスキ元ポーランド大統領、ヤーグラン欧州評議会事務局長（7日）、ミニョンPACE議長、グリボウスカйте・リトアニア大統領、ヴェスターヴェレ独外相（8日）及びベアード加外相（9日）等も一様に、本決定は重要な一歩であると歓迎しつつ恣意的裁判の問題に関しさらなる進展を期待する旨の声明を発表。

・9日、ホンチャルク大統領補佐官兼大統領府国際関係総局長は、今回の恣意的裁判問題に対する政府の措置によりEUとの連合協定は11月の署名に向け大きく前進した旨発言。

▼アンシブ・エストニア首相の来訪

・11日、アザーロフ首相は、来訪したアンシブ・エストニア首相と会談し、外交及び投資分野における両国協力等に関し協議。アンシブ首相は、一人の女性によって連合協定の署名が阻害されてはならず、東方パートナーシップ首脳会合において同協定は署名されると信じている旨発言。

・12日、ヤヌコーヴィチ大統領は、アンシブ首相と会談し、ウクライナの欧州統合問題等に関し協議。ヤヌコーヴィチ大統領は、欧州統合はウクライナの発展のための新たな可能性を創出するとして、ウクライナはEUとの合意事項を着実に履行している旨発言。

▼ルィバク最高会議議長の訪露

・11日、ルィバク最高会議議長は、サンクト・ペテルブルクを訪問し、ナルイシュキン露国家院議長及びマトヴィエンコ露連邦院議長との会談において両国議会間委員会の実施日程、ウクライナと関税同盟との協力問題等に関し協議。

・12日、ルィバク議長は、CIS諸国議会間会議に出席し、ウクライナは欧州統合とCIS枠内における協力は相互に補完するプロセスと見なしている旨発言。

▼その他

・8日、ヤヌコーヴィチ大統領は、3月22日に最高会議によって批准された「査証手続簡素化に関するウクライナ・EU間協定の修正に関する合意」に署名。

・10日、ウクルスペツエクスポート社は、2011年のリビアに対する国連制裁を回避してウクライナ等が武器の不法輸出を行っていた可能性があるとする米ワシントン・ポスト紙報道

に関し、ウクライナは制裁後にリビアに対して武器の輸出は行っていない旨発表。同日、ペレビーニス外務省情報政策局長代行は、同情報を確認中である旨発言。

・11～13日、ソネンシャイン米国務次官(広報・文化交流担当)は、ウクライナを訪問し、アメリカンセンターの起工式及び女性フォーラム等に出席。

4. 防衛

・9日、レベジェフ国防相はブラジルを訪問し、航空・航空宇宙・防衛産業に関する国防安全保障国際博覧会2013に出席、またアモリム国防相と会談。

・10日、レベジェフ国防相は、アルゼンチンを訪問しプリセリ国防相と会談。

(了)